



鹿島神社拝殿―香芝市で



鹿島神社 (香芝市)



近鉄下田駅の北にある
神社で、祭神は茨城県

年、源義朝の家臣の鎌
田小次郎政光が、常陸の

「結鎮座文書」(後述)

の鹿島神宮と同じ武甕
槌大神です。香芝の地
名は当社の「カシマ」に
由来するともいわれま
す。

「源氏再興へ」常陸に源流

国鹿島神宮の分霊を勧請し、旅に出ます。鹿島の風景に似た下田に至り、祠を建てて鹿島神宮の神を祭ったのが始まりと伝えられます。当初はやや南の地にあり、鎌田と陸国の鹿島にたどり着く、鹿島神宮で源氏再興の願掛けをしました。満子の宮座として「結鎮座」の日の夜、夢に老人が出てきて、西の方に行けば願いがかなうと言われ、祭礼を行ってきた集団

で、座の組織や年中行事などを記した「結鎮座文書」(県指定文化財)が伝わり、村や宮座の構造を知る貴重な史料となっています。毎年1月26日に行われる渡御行事は、宮座の上人衆が輪番で務める頭屋宅に、鹿島神社のご神霊を迎える行事です。昨年の秋祭りでは「下田だんじり」が約60年ぶりに曳行されました。

(奈良まほろばソムリエの会会員 喜多村英夫)

- (住所) 香芝市下田西1の9の3
- (祭神) 武甕槌大神
- (交通) 近鉄下田駅からすぐ、JR香芝駅から徒歩約5分
- (拝観) 境内自由
- (駐車場) 有(無料)
- (電話) 0745・78・7535